

乗用車のみ跋行的に多い従來の保有形態は當然是正されねばならないであらう。

又、スマトラ、ボルネオ等従來開發を行はなかつた關係から、著しく自動車が少ないが、之等の地域とも睨み合はし、今後のジャ

ワの自動車の配分を決定すべきであらう。
いづれにせよ、ジャワの自動車界は新に大東亞的性格に生れ變らねばならない。

石川縣羽咋郡志雄町の道路愛護會作業及 展覽會に就いて

木村石川縣土木課長

石川縣羽咋郡志雄町に於ては二十年前道路愛護の必要緊切な事

業なるを感得し、町長中村長久を中心に其の作業を開始し漸次附近町村に普及し本年五月に施行したる際の如き富山縣下町村より四十餘人の出勤あり、極めて盛大に施行し、道路改良會よりは平井幹事來志せられ小官等亦出張した、尙志雄町に於ける作業及展覽會の狀況の大略を記すれば左の通である、尙ほ閉會式に臨み木村縣土木課長の告諭あり且平井幹事は道路改良會長水野氏の祝詞を代讀された。

志雄町道路愛護會作業

記

- 一、日時 七月五日午前七時より午後四時迄
- 二、出場人員 三千三百一名
- 三、作業實施區間
 - 一、府縣道 六里三十一町
 - 二、町村道 二十二里十六町
 - 三、林道 四里二十九町

四、其他の道 一町五間

合計 三十四里十四町



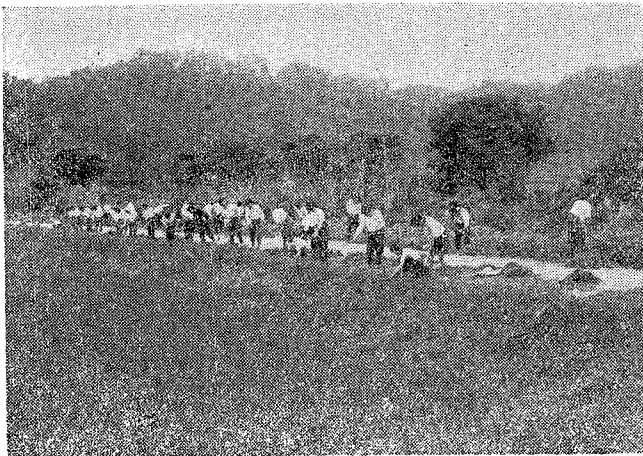
七月八日石川縣志雄町富山縣建川村、久目村
熊無村縣界會見記念撮影

四、道路愛護會に關する兒童作品展覽會

一、參加學校數 七校

二、出品點數 五千二百點

三、出品種品 標語圖畫作文書方

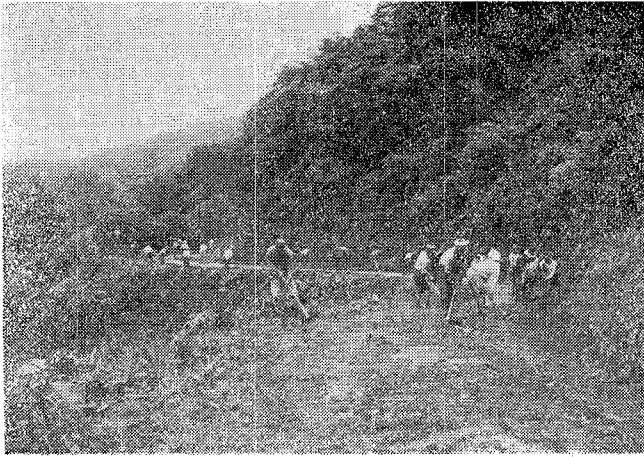


七月八日道路愛護の日石川縣志雄町女子青年
團道路愛護作業

四、入賞 知事賞八點、町長賞九十七點

五、出場人員

一般村民 千三百七十三人
 在鄉軍人 二百七十四人



七月八日志雄町在鄉軍人道路愛護作業

男子青年團 百六十四人
 女子青年團 百二十人

說 菴

役場其他團體職員 五十二人
 學校職員 二十八人
 國民學校兒童 千二百九十八人
 計 三千三百一人

志雄町主催道路愛護兒童作品展覽會

一、期 日 昭和十八年七月四、五、六日
 二、出品者 志雄町各學校兒童一千三百名

志雄國民學校、樋川國民學校
 南呂知國民學校、散田國民學校

三、出品點數 北志雄國民學校、針山國民學校、志雄町青年學校
 道路愛護に關する圖畫、習字、標語、綴方、總
 點數五千二百點

四、入賞數 知事賞 八點
 町長賞 九七點

知事賞

綴方	志雄校	高二	木村二郎
標語	同	初二	荒木靜枝
圖畫	樋川校	初六	加藤順子
同	南呂知校	同	金曾勇
圖畫	北志雄校	初六	北山明
習字	散田校	初三	岡村久仁子

綴方

針山校

初二 久保 彌子

圖畫

中谷きよ子

標同

同 玉田 富士男

習字

青年學校

一本科 西山 竹子

同

宮出タツコ

同

初五 玉田 喜久男

町長賞

志雄校 三十二點

習字

山下 泰子

同

初四 小柳 滋

圖畫

高一 伊藤 芳子

同

初四 龍華 康子

同

初六 田村 千代子

同

初三 玉田 富士男

同

同 深井 忠治

同

初二 澤田 君枝

同

初三 宮出 早千代

同

初二 山下 順子

同

同 初六 佐々木 親彦

標語

高二 三津田 義男

同

南邑知校 十二點

標語

初六 鐵矢 澄枝

同

同 初五 安達 清子

同

初六 山田 清昭

圖畫

高下 外雄

標語

初六 鐵矢 澄枝

同

同 初四 上野 君枝

同

同 池田 昇一

同

初三 市野 百合子

同

初五 西村 良子

同

同 同 田中 良子

同

初五 田中 靜代

同

初二 岩根 玉子

同

初四 橋本 良枝

同

同 初三 山形 等

同

同 同 田村 操

習字

初四 寺島 八三

綴方

初五 西塔 正

同

同 初二 稻泉 乙朗

同

初四 木下 宏明

同

初三 菅本 昭男

同

初四 永野 志志

同

同 初一 山本 満子

同

初三 濱田 和美

同

初二 高松 修三

同

初二 階戸 美智子

習字

高二 木村 二郎

綴方

高一 前田 美千子

同

北志雄 十二點

同

初二 階戸 美智子

同

同 同 池田 助五郎

同

初六 池田 昇一

圖畫

初四 中谷 秀雄

標語

初六 藤澤 彰

同

同 同 田村 シゲ子

同

同 同 龍華 朋子

同

同 北山 悦子

同

初五 北山 正人

同

同 初六 川畑 利造

同

同 同 月間 民子

同

初二 清水 政次

同

初四 森本 末松

同

同 同 佐々木 親彦

同

初五 安達 清子

習字

初五 北山 令子

綴方

初六 北山 善一

同

同 同 田中 尚子

同

初四 飯尾 三郎

同

初四 坂本 ナミ子

同

初五 北山 令子

同

同 初五 末田 一枝

同

初三 佐久間 久

同

初二 北山 みち子

綴方

初二 清水 政治

櫛川校 十二點

散田校 十二點

圖畫 初五 木村淑美 標語 初四 上月孝子

同 初三 高田米子 同 初二 高島峻夫

同 初二 桂タミ子 同 同 萩山孝文

習字 初四 岡田茂徳 綴方 初六 塚本ますい

同 初二 金山稜子 同 初五 木村淑美

同 初一 杉本ミツヲ 同 同 岡山芳枝

針山校 十二點

圖畫 初六 久保昭子 同 同 中野吉信

同 初四 水上香次郎 標語 初四 清水定信

同 初二 中田和子 同 初三 山田長佐久

習字 初六 中田一夫 同 初二 久保國子

同 初五 山本貞吉 綴方 初六 中田一夫

同 初二 村本貞子 同 初四 村田茂儀

青年學校 五點

習字 本一 松本和子 同 本一 山本幸子

綴方 同 安達和子 同 同 網はる子

標語 本二 角辰子

志雄町道路愛護會展覽會(成績の一部)

標語

知事賞 きれいな道はみんなすき 志雄校 荒木 靜枝

町長賞 道整つて郷土は光る 同 山田 清昭

戦力増強は道路から 同 池田 昇一

この腕でよし引受けた産業路 同 津田 義男

よごすなこわすな愛せよ道路 同 木下 宏昭

郷土の光は道路より 同 田中 靜代

護れよ愛せよ輝く道路 同 田村 操

道の石あちこち投げてそまつにするな 同

さあがんばらう道の世話 散田校 濱田 和美

かつために僕もてつだふちぶしん 同 上月 孝子

ぼくらの道は僕等の手で 同 高島 俊夫

道路愛護で國土を護れ 同 萩山 孝文

道を歩くも愛護で歩け 針山校 清水 定雄

よい町よい人よいだらう 同 山田長佐久

道も光れば町も光る 同 久保 國子

一徳が道路愛護で御奉公 北志雄校 藤澤 彰

道路愛護に光る真心 同 北山 正人

道路愛護もとなり組 同 森本 末登

良い道良い町我等の誇 南邑知校 西村 良子

統とる心で道路を愛せ 同 鐵矢 澄枝

汗と笑顔で道路愛護 同 橋本 良枝

同 樋川校 玉田喜久男

忘れるものか道路愛護

同 玉田富士男

のびる日本のばせ道路

同 小柳 滋

道路愛護は我等の腕で

青年學校 山本 幸子

感謝しながら通してもらはう

同 綱 はる子

愛せよ道路つとめよ増産

同 角 辰子

習字

知事賞

青年學校 西山 竹子

同

敬田校 岡村久仁子

圖畫

知事賞

樋川校 加藤 順子

同

北志雄校 北山 朋

同

南島知校 金 曾 勇

綴方

知事賞

志雄校 木村 二郎

同

針山校 久保 國子

「道路愛護」

石川縣羽咋郡志雄國民學校 高二 木村二郎

坦々として、一望曠漠の緑の平野を縫ふて、走る一すじの路、

その上を砂煙りを上げながら疾走する自動車、これらを眺め且見るとき、我等は何を感じるであらうか。それ、誰しも、道路の便利さを思ふと共に、道路愛護の念を、痛感されるに違ひない事で

あらう。「道路は愛護すべきものなり。」といふ。されば何故道路を愛護しなければならぬか。それは、道路が、どれだけ我等人類の仕事を手助けしてくれ且能率を上げさせてくれるかを覺れば、自らとける問題である。道路は、平時には産業開發のよき輸送路となり、一朝有事の際には直ちに國防路・兵站路となつて、國家防衛の重要な道となるのだ、積荷一ぱい風雨を衝いて疾走する貨車を見ては前者としての道路の役目を、轟々と砂塵を捲いて進進する戦車を見ては、後者としての道路の役目を我等はどれだけ痛感することか、我等の道路愛護の精神もこゝに存源しなければならぬ。目の前につゞく此の道は時によつては直ちに、兵站路となり輸送路となると共に、一たび出でては「ワシントン」「ロンドン」への進撃路となり、入りては、我が町我が村の産業開發や郷土發展の理想路となることを銘記せねばならぬ。我が志雄町が他郷に率先して道路愛護に力める所以も、こゝに存するに外ならない。

「愛せよ産業路護れよ國防路。」我等は常にこの心持と氣概とを以つて道路愛護に力め、産業開發、國力増進の促進に、努力しなければならぬ。

だうろあいこ

石川縣羽咋郡針山國民學校 初二 久保國子

大きいねえさんは、だうろあいこのひやうこをつくとつてしんばいしてゐました。

「せんそうにかつにはだうろあいご」
がよいか、

「だうろあいごの村はさかえる」
がよいかといつて何べんも考へてみました、二まいともせいでよしました。

お父さんは見られて「二まいともよい」とほめられました。
私も學校でつくつたのを見せましたらわらつてみました。「國子のもうまい」とお母さんがおつしやいました。私のは「よい町、よい人、よいだうろ」であります。

祝辭

本日ヲトシ茲ニ石川富山兩縣道路愛護行事ヲ施行セラル洵ニ欣快ニ堪ヘサル所ナリ

抑モ我邦ノ道路ハ幹線ヲ除キテハ道路ラシキ道路ナク近代的施設ハ實ニ道路法制定後ニ屬スト謂フモ敢テ過言ニアラス特ニ高速度交通機關ノ急激ナル發展ハ道路ノ整備ヲ促進シ政府及地方廳ニ於テモ道路ノ改良整備ニ努力スル所アリ第一次及第二次國道改良ノ企圖ニ伴ヒ改善ノ方策ヲ樹テ、鏡意效果ヲ收ムルモノアリト雖モ其ノ目標ニ到達スルコト尙ホ遠キノ觀アルヲ免カレズ而カモ現下時局ニ於テ戦力増強ヲ要スル爲ニ陸上輸送力ノ確保ハ最モ喫緊ノ要務タルニ至リ道路ノ整備ハ愈々強化セサルヘカラス然ルニ財政上ノ事情並ニ物資ノ關係等ニ依リ改善ノ十全ヲ期スル能ハサル

モノアリ寔ニ遺憾ニ堪ヘス故ニ此際ハ道路ノ保護乃チ維持修繕ニ依リ其ノ急ニ即應スルノ外ナシト思ハル

石川富山兩縣ニ在リテハ志雄町ヲ始メトシ夙ニ道路ノ保護ニ着意シ維持修繕ニ力ヲ竭スコト茲ニ二年アリテ其ノ普及發達ニ努メ功績洵ニ顯著ナルモノアリ推奨措ク能ハサル所ナリ然ルニ近時ノ情勢ハ更ニ一層其ノ施設經營ニ俟ツコトノ少カラサルモノアルヲ感ス庶幾クハ一段奮勵努力ヲ以テ其ノ功ヲ致サレンコトヲ一言所懷ヲ述ヘテ祝辭トス

昭和十八年七月五日

道路改良會々長 水野鍊太郎

